

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	氷風穴群周辺環境整備事業
事業主体 (連絡先)	氷風穴の里保存会 (小諸市大字大久保 814 080-5142-0825 事務局 前田 重雄)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	881,840 円 (うち支援金: 670,000 円)

事業内容

1. 6号風穴の土砂撤去工事

長年にわたり未使用だったため、埋没したままの6号風穴であったが、今事業により土砂撤去工事を行った。区の年配者の話によると、石積みはほぼ完全に残っており、冷風も良いとのことであったが、実際には8月から業者による土砂撤去工事を行い、東側と北側が崩壊しており、完全な石積みは残っていなかった。ただ、冷風については夏にもかかわらず、作業員が防寒着で作業していたこともあり、冷風穴としては良好であると思われる。工事終了後は、菊、地元農産物のジャガイモ、タマネギ等の保存をした。温度が、平均で10℃程度であったため、快適な保存状態であった。

初冬となり、外気温がマイナスになり、ビニールシートにより保温を行ったが、12月に点検すると、カビの発生が見られた。湿度によるものと見られる。

工期 7月16日 ~ 8月10日



【土砂撤去後に地元産の農産物保存】

2. 石積みの補修工事

6号風穴の入口付近の石積みの一部が、崩落しており、土砂撤去工事に支障があったが、補修工事を行なって、安全な土砂撤去工事の実施が出来た。また、保存会員が、6号風穴に立ち入る際も、安全に歩行できるようになった。

工期 6月8日 ~ 6月29日



【石積修繕工事 完了】

3. スタンドボックスの製作

風穴駐車場には、手製による風穴誘導看板が設置していたが、見えづらいとの不評であり、このたびスタンドボックスを製作し、風穴案内がスムーズにできるようになった。さらに2種類のパンフレットをおくボックスを作ったため、手軽にチラシが取れ、全体を把握できるようになった。現在は、毎週ごとの来場者数の把握にも利用している。

作成工期 6月20日 ~ 9月30日



【スタンドボックス設置写真】

4. 風穴学習会の開催

風穴の出来た地学的な学習、また近代の歴史的な背景による活用実績について専門家の講演会を計2回開催し、保存会員だけでなく地域の一般市民や、風穴に興味のある人に広く呼びかけをし、風穴を正しく理解してもらった。

①第1回 6月17日

講師 宮下健司さん 参加者 45名

②第2回 1月27日

講師 清水長生さん 参加者 76名

開催場所

安藤百福センター会議室

参加費 無料



【学習会聴衆状況】

5. 風穴チラシの作成

昨年度まで使用したチラシは、平成29年9月の風穴サミット時に別予算で作成した氷風穴の里のチラシを主に使用していたが、風穴の詳細なチラシを今回は作成した。7月から、市内はもちろんであるが、軽井沢、御代田などの各事業所や観光に関わる施設にも配布したが、すこぶる好評であった。大幅な来場者増にも繋がった。

工期 6月1日 ~ 7月15日



【新チラシ表面】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①風穴への来場者を、昨年度と比較

平成29年度来場者実績 600名
平成30年度来場者推定 2400名
目標 H29年度実績の20%増の720名であった実績 H29年度の300%増の2400名を予想

【目標・ねらい】

①風穴への来場者の増加

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

H29年度から元気づくり支援金事業により、各事業を行なうことにより、年々氷風穴の存在が広域的に知られるようになってきた。

学習会の開催では、専門の講師により、風穴の仕組みや活用について講演をいただいた。

昨年風穴まつりでは、マスコミの報道により、思いがけない大勢の来場者があった。

観光面では、かなり定着が図られてきたと、感じているが、さらに広報を充実したい。

今後は、他の風穴の利用状況を学習、見学することで自然エネルギーを利用した天然冷蔵庫としてエコ商品の開発や貯蔵事業に利活用していきたい。

※自己評価【 A 】

【理由】

当初の予想を大きく上回る来場者が訪れ、自然の不思議さを多くの皆さまに体感してもらった。特に、県内外にも広く知られるようになったため、風穴研究の皆様と、交流することで、情報の共有が図られたこと。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある